

大学職員採用案内

Recruiting Information

2025



学生が活気にあふれ、教職員がやる気に満ち、 地域が元気になる、ダイバーシティを活かした大学にー

ー 茨城大学が求める人材像 ー

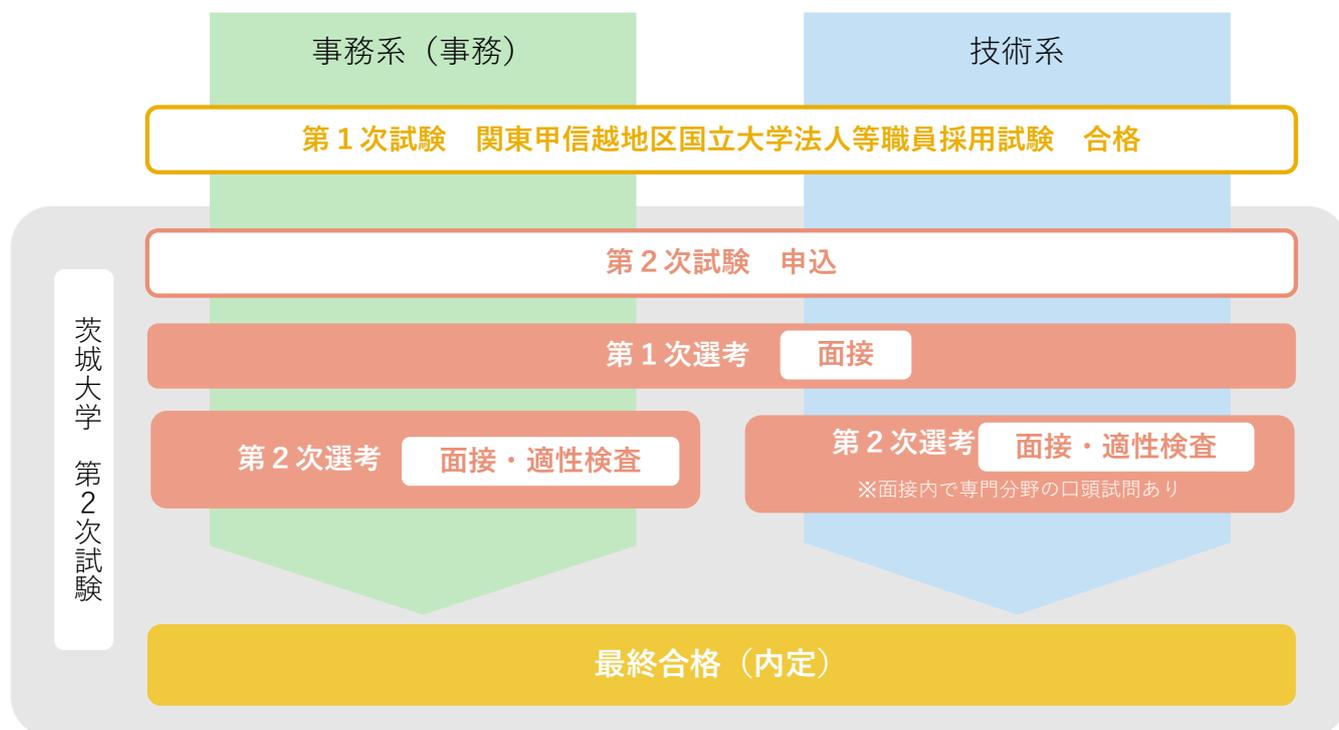
慣例にとらわれない柔軟な発想や応用力

法人化により、国立大学は日々、変化し続けています。過去の慣例にとらわれず柔軟な発想で、大学を取り巻く環境の変化にスピード感を持ち対応できる応用力が求められています。

常に経営感覚を持ち、多角的な視点から考えられる

国立大学の運営費は、国からの交付金が多くを占めています。国民の税金により運営されていることを念頭に置き、常に経営感覚を持ちながら仕事をする必要があります。また、多角的な視点から考え、効率的・効果的に仕事を進める必要があります。

茨城大学が行う第2次試験等の内容・日程



第2次試験についての日程等詳細は、本学の職員採用HPをご覧ください。
<http://jinji.admb.lbaraki.ac.jp/employment/index.htm>



茨城大学の概要と特色

2024年に創立75周年を迎えた茨城大学は、1871年（明治7年）設立の拡充師範学校を起源とし、旧制水戸高等学校、多賀高等工業学校、旧制霞ヶ浦農科大学などが統合され創立された、長い歴史と伝統を持つ、茨城県を代表する総合大学です。

県庁所在地である水戸市に立地し、大学法人本部が置かれる水戸キャンパスには図書館本館、人文社会科学部（大学院人文社会科学部研究科）、教育学部（大学院教育学研究科）、理学部（大学院理工学研究科）、日立キャンパスには工学部（大学院理工学研究科）、阿見キャンパスには農学部（大学院農学研究科）があります。その他に東海サテライトキャンパス、附属幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校を含め7つのキャンパスを有しています。

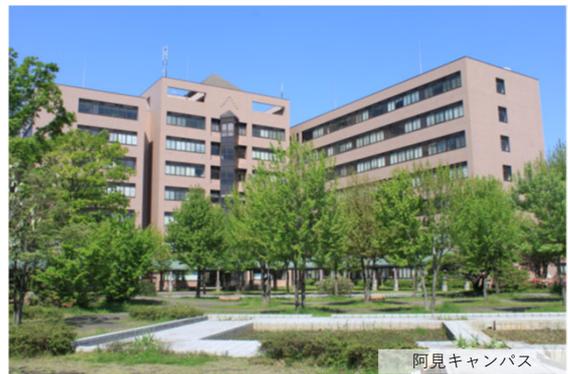
水戸市内には、全国の藩校で教えられていた「水戸学」の発祥地でもある「弘道館（1841年創設。徳川御三家水戸藩の藩校）」が所在しています。江戸時代における国内最大規模の藩校であり、武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学・蘭学など幅広い学問を扱う、当時の総合大学というべきものでした。その弘道館が有していた蔵書の多くは、国有化に伴って、本学の前身である旧制水戸高等学校に引き継がれました。

また、茨城大学は、日本近代美術の発祥の地であり茨城県北部の「関東の松島」の異名を持つ景勝地・五浦海岸に、岡倉天心ゆかりの「六角堂」等の貴重な文化遺産も所有しています。

このような長い歴史と伝統を活かし、茨城大学では、特に教育に力を入れており、学生にとって「分かりやすく、面白い授業」を多く開講すると共に、充実した大学院教育も行っています。

研究面では、多様な分野で国際的に優れた研究に取り組んでいます。さらに、近年は国際交流、大学間連携、地域社会連携を積極的に推進しています。

茨城大学は、新しい時代の大学として魅力の向上に努め、社会の期待に応えるべく様々な改革に取り組んでいます。



茨城大学で働く人々について

茨城大学には、大学教員、附属学校園教員、事務系（事務・図書）職員や多くの専門分野ごとの技術系職員、有期契約職員など常時約1,000人を超える人々が勤務しており、職員は、大学法人本部事務局、図書館本館及び分館、教育研究・社会連携活動を行う各種センターなどで、総務・人事・労務・財務・学生支援・研究支援・社会連携・国際交流・学術情報サービス及び技術系の業務に携わっています。



大学職員の仕事内容

大学職員というと、学生さん達の対応をしている窓口担当職員のイメージが強いですが、大学法人の運営など、教職員と児童、生徒、学生を合わせ10,000人以上の構成員の活動全てに対する仕事に従事しており、様々な部署と業務内容があります。

部署名	業務内容	
UAオフィス (University Administration オフィス)	大学の将来計画、戦略の提案・立案、大学運営全体に関するIR、情報収集、国立大学法人評価、中期目標・中期計画、内部質保証 など	
監査室	会計検査院等外部監査の対応、コンプライアンス、法人内監査の総括 など	
広報・アウトリーチ支援室	広報戦略策定、アウトリーチ活動支援、公式ウェブサイト管理、大学広報誌発行 など	
ダイバーシティ推進室	男女共同参画、ダイバーシティの推進 など	
総務部	総務課	大学事務統括、役員会・経営協議会・教育研究評議会、学内諸規則制定改廃、情報公開、各種式典 など
	人事労務課	教職員の採用、退職、給与、研修、健康管理、福利厚生、労務管理、労働安全衛生管理、兼業、栄典、表彰、教職員組合対応、教職員評価 など
財務部	財務課	予算の編成・執行及び決算、財務分析、資産運用、物品購入、役務、その他の法人内全ての契約統括 など
	施設課	施設建物の設計、発注及び工事監督、施設環境保全、法人財産の管理 など
学務部	学務課	スタディサポート室運営、基盤教育、教育改善、学籍管理、各種証明書発行、教学イノベーション機構運営 など
	学生支援課	スチューデントライフサポート室運営、学生の生活相談、休退学、課外活動、学費減免、奨学金 など
	キャリア・就職支援課	キャリアサポート室運営、学生の進路・就職相談・サポート、インターンシップ など
	国際連携教育課	グローバル教育サポート室運営、国際教育・国際交流の推進、海外留学、留学生受入、グローバルエンゲージメントセンター運営 など
研究・社会連携部	入試・高大連携課	入学者選抜試験（大学入学共通テスト・個別試験等）実施、入試広報、高大接続、アドミッションセンター運営 など
	研究推進課	研究費補助金、各種研究助成金、研究活動支援 など
	学術情報課（図書館）	大学内情報機器・ネットワーク機器管理、情報セキュリティ、図書館運営、レファレンス・サービス、図書の種類・目録及び登録 など
	産学連携課	企業等との受託研究・共同研究契約、知的財産権管理 など
社会連携課	地域企業・自治体等との連携・協働事業、学生・教員プロジェクト、社会人リカレント教育、公開講座、基金の受入・管理・運用、事業計画の策定、同窓会 など	
学部等支援部	水戸地区事務課	各学部・学環・大学院・専攻科・附属学校園（幼稚園、小学校・中学校・特別支援学校）の運営・管理業務 など
	日立地区事務課	
	阿見地区事務課	
工学部技術部	日立キャンパス（工学部等）での教育・研究に係る技術的支援 など	
学内共同教育研究施設などでの教育・研究に係る事務・技術業務	教学イノベーション機構、研究・産学官連携機構、情報戦略機構、保健管理センター、アドミッションセンター、スチューデントサクセスセンター、研究設備共用センター、地球・地域環境共創機構、原子科学研究教育センター、社会連携センター など	

(令和6年4月1日現在)

給与・勤務条件

本学の給与・勤務条件は、国家公務員に依拠して定められています。

基本給 (地域手当含む)	例：235,400円[大学・専門学校卒] 246,100円[大学院修士課程修了] 258,298円[大学卒業後社会人経験5年] ※令和7年3月1日現在
通勤手当	通勤方法に応じ、55,000円まで支給（片道2kmから支給対象）
住居手当	アパート等の賃貸額に応じ、毎月28,000円まで支給
入試手当	大学入学共通テスト、学校推薦型選抜、一般選抜への従事に対し、支給
扶養手当	扶養親族に対し、毎月支給（例：配偶者6,500円、子10,000円）
定期昇給	年1回（1月1日）
ボーナス (期末手当・勤勉手当)	年2回支給（6月30日、12月10日）
その他手当	時間外勤務手当、休日勤務手当など
所定勤務時間	8:30～17:15（休憩60分） 実働7時間45分/1日 （勤務部署により、時差出勤があります）
所定休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
年次有給休暇	1年20日（職員の1年間平均取得日数12日）
病気休暇	病気、怪我等の療養に必要と認められた期間（90日まで）
生理休暇	必要と認められた期間
特別休暇	ワークライフバランス休暇（3日間）、結婚休暇、出産前休暇（6週間）、 出産後休暇（8週間）、子供の看護休暇、忌引休暇、ボランティア休暇 など

このほか、休職制度、介護休業、育児休業、育児短時間勤務制度、配偶者同行休業制度などがあります。職員の定年退職は65歳ですが、希望により、70歳まで継続雇用職員として勤務することができます。※詳細は、（<http://houki.admb.ibaraki.ac.jp/act/frame/frame110000024.htm>）をご覧ください。

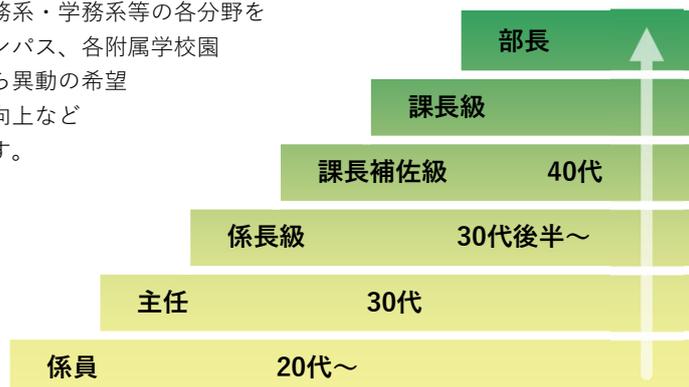


人事異動・昇進

人事異動には、大きく分類して、各業務分野の仕事を幅広く経験させる場合と、特定業務分野の仕事を歴任し専門性を高めキャリアを重ねていく場合があります。

事務系（事務）職員については、概ね2、3年ごとに人事異動があります。採用直後の期間は、育成期間として位置付けられ、各業務分野を経験し、大学職員としての知識を蓄えるために、総務系・財務系・学務系等の各分野を経験します。また、水戸、日立、阿見キャンパス、各附属学校園への異動もあります。毎年1回、各個人から異動の希望などを聞いたうえで職員の育成、専門性の向上などを総合的に勘案して、異動先が決定されます。

昇進は、職員個々の能力に応じて順次行われていき、課長補佐級以上に昇進する際には、筆記や面接等による試験が行われます。



研修制度

本学では、業務分野ごとに専門性を高める専門研修のほか、大学外で行われる業務に関連したセミナーや研修会に参加する機会を設けています。また、文部科学省内での長期（1年間）実務研修なども実施されます。

研修の例

- 新任教職員オリエンテーション …… 法人制度、大学概要、大学運営について
- 新採用職員研修 …… 大学職員として必要な知識・仕事の進め方等について
- 係長研修 …… ミドルリーダーに求められる資質等の向上
- 中堅職員研修 …… 中堅職員に求められる心構えや行動等について
- コンプライアンス研修 …… 法令遵守、コンプライアンス意識の向上
- ハラスメント研修 …… ハラスメントに関する知識の習得と防止について
- 文部科学省行政実務研修 …… 文部科学省における行政の実務を経験し、視野の拡大をはかる
- 若手テーマ学習会 …… 課題解決力、コミュニケーション力、プレゼン力等のスキルアップ

Pickup 1 文部科学省行政実務研修



文部科学省における行政の実務を経験することで、その人の視野の拡大等を図り、大学職員の人材育成に寄与することを目的としています。

～令和6年度研修生よりメッセージ～

令和6年4月より、文部科学省行政実務研修生として文部科学省で勤務しています。高等教育政策や科学研究費助成事業に関する業務に携わり、教育・研究と幅広く経験させていただきました。文部科学省に勤務してから、政策や事業の源流となる答申等に立ち返るようになり、大きな視点で物事を捉えることが出来るようになったと感じています。

私は仕事をやる上で、『まずはやってみよう!』という考えを大事にしてきました。その考えの基で、省内業務改善プロジェクトに参加したり、仲間を募って大学職員勉強会を運営する等、人との交流を広げ沢山の情報に触れることの大切さを学びました。学びの輪を広げたい方に、お勧めの研修だと思っています。

小林 穂菜美（令和2年度採用）

Pickup 2 若手テーマ学習会

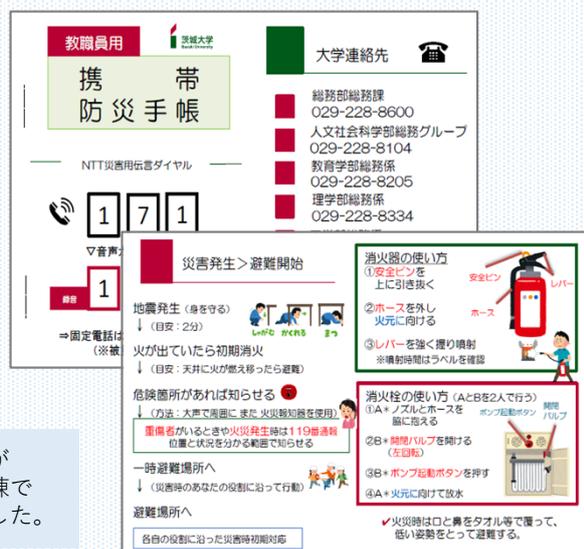
大学職員として求められる課題解決力、コミュニケーション力、プレゼン力等のスキルアップを目的として実施しています。

前回の学習会では、『業務の生産性向上を考える』、『大学における防災を考える』、『これからの大学広報を考える』という3つの課題に各グループが取り組みました。担当業務外の課題解決に向けて、知識の習得、問題点の把握に努め、関係部署と相談・調整しながら数か月間活動しました。

最終報告会では、各グループが取り組みの成果や苦労した点を振り返り、発表しました。

また、この研修の中で発案された若手職員のアイデアの一部は、学内の活動に積極的に取り入れられています。

『大学における防災を考える』に取り組んだグループが教職員向けの防災手帳を作成しました。実際の防災訓練で教職員に配布され、学内の防災意識の向上に寄与しました。



福利厚生

<p>各種保険等</p>	<p>文部科学省共済組合（民間でいう健康保険・厚生年金に相当）、雇用保険、労働者災害補償保険へ加入します。</p> <p>文部科学省共済組合</p> <p>文部科学省に勤務する国家公務員と同様に、文部科学省共済組合へ加入し、国家公務員と同一の医療保険・年金制度が適用されます。また、文部科学省共済組合事業では、傷病時や出産時の給付制度、物資購入時の貸付制度、国内の保養施設を利用する際の補助等を受けることができます。</p>
<p>健康管理</p>	<p>水戸キャンパスの保健管理センターには、複数の医師及び看護師（日立、阿見キャンパスは看護師のみ）が常駐し、職員の健康相談などに随時応じているほか、職員は、毎年定期健康診断を受診することになっています。</p>
<p>教職員宿舎</p>	<p>水戸市には、安価で入居することが出来る宿舎も用意されております。また、茨城県内の賃貸物件は比較的安価なため、アパート等に入居して新生活を始める方が多いです。</p> <p>★キャンパス周辺の相場 水戸:1LDK 6.0万円 日立:1LDK 5.5万円 阿見:1LDK 5.5万円 ※令和6年4月時点</p>

社会・地域連携活動

Pickup 1 『地域創生の知の拠点となる大学』を目指して

茨城大学は、市民、自治体、教育界、高等教育研究機関、経済産業界と連携して教育研究を推進し、その成果を社会に還元することで、地域社会の発展に寄与することを行動指針の一つとしています。

本学では、令和元年度より「茨城大学リカレント教育プログラム」をスタートしました。社会のニーズに合ったプログラムの体系化や企業等の相談に応じたプログラムの提供などの仕組みを新たに整備し、地域の企業や自治体と連携しながら教育システムの構築に取り組んでいます。社会人の多様な学び直しニーズに応えるとともに、人材育成を通じた地域創生をめざします。



Pickup 2 茨城大学とスポーツ



平成30年に株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント（「茨城ロボッツ」）と連携協力に関する協定書を締結しました。連携協定により、人材育成のためのプログラムの強化やスポーツコンテンツを通じた地域活性化に関する共同研究など、相互の資源を活かした組織的かつ強固な連携が進み、地域の発展を共に目指していきます。

また、鹿島アントラーズや水戸ホーリーホックとも連携協定を締結しており、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。



CHECK!

■ 「地域に支えられ、地域から頼りにされる大学」を目指して

茨城大学 社会連携センター

<https://www.scc.ibaraki.ac.jp/>



ワークライフバランス

各制度を取得した職員の声を紹介します。

※インタビュー内容、所属等はインタビュー当時のものです。

育児休業制度

令和2年10月の第一子誕生を機に約3ヵ月半の間、育児休業を取得しました。

コロナ禍であったため私や妻の両親等に育児を手助けしてもらうことも難しく、初めての育児に戸惑うことも多々ありました。しかしながら、妻だけでなく私も育児休業を取得することで、夫婦で考えたり相談したりする時間を十分に確保することができたため、充実した日々を送ることができました。なにより、生まれて間もないわが子が成長する姿を間近で見続けられることは、貴重な財産だと思います。

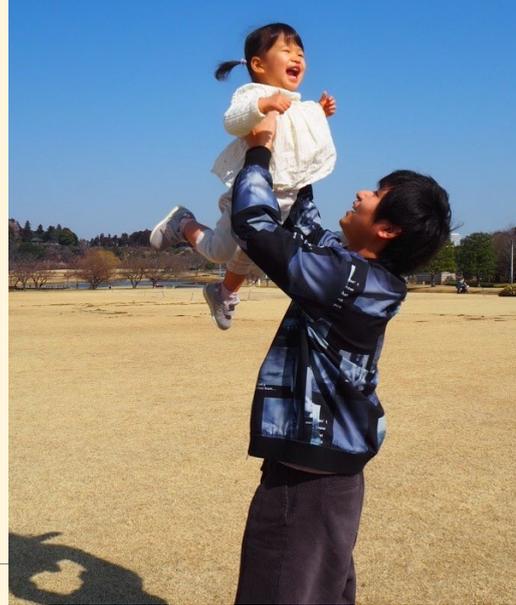
そうして培われた経験から、育児休業復帰後の現在も夫婦で助け合いながら育児に取り組むことができます。

業務上で繁忙期にあたる期間でしたが、職場の上司や同僚の協力のおかげで育児休業を取得することができ、大変感謝しております。

今後、男女問わず育児休業を取得する同僚に対して、休業中も安心できるよう精一杯のサポートをしていきたいと思えます。

中村 仁

人事労務課給与係 係員 (平成29年度採用)



配偶者同行休業制度

令和元年より、配偶者同行休業を取得し、英国で生活しています。夫の海外転勤が長期におよぶ可能性があったことや私自身、大学での仕事を続けたいという思いがあったことから上司や同僚に相談の上、この制度を利用することとなりました。職場にかかる負担やキャリアブランクができることへの不安はありましたが、温かく背中を押してくれた職場に感謝しています。

渡航後は語学学校に通ったり、各地の大学を見学したり、現地で活躍する日本人を訪ねたりして過ごしました。地元の人々との交流や日常における出来事すべてが貴重な経験であり、勉強になります。ロンドンの多様な働き方や、ワークライフバランスの考え方、家庭における男女の平等性にも刺激を受けました。英国人は自分や他者の私生活（趣味、宗教、家族、健康維持など）を非常に重視しており、テレワークやフレックスタイム制などの自由な勤務体系（Flexible Working）も浸透しているのおかげで、共働きの家庭でも仕事と家事・育児の両立が比較的容易になっています。

この制度のおかげで退職を考えずに済んだことは幸運でした。復帰後は多くのことを学び直す必要がありますが、やりがいのある仕事なので、現場に戻るのが今から楽しみです。今後、同僚がこのような制度を利用する場合は、安心して働けるよう私自身が全力でサポートしていきたいと思えます。

加藤 倫美

広報室 室員 (平成27年度採用)



CHECK!

■ 誰もが尊重され活躍できるダイバーシティ（多様性）の推進

茨城大学 ダイバーシティ推進室

<https://www.ibaraki.ac.jp/diversity/index.html>



茨城大学（試験会場）までのアクセス

茨城大学 水戸キャンパス

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

※アクセスの詳細は、茨城大学ホームページにも掲載しています。

▶茨城大学 水戸キャンパス アクセス
<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/>



【鉄道でのアクセス】

- JR上野駅からJR水戸駅まで
常磐線特急ひたち/ときわが約30分毎に運行中
[乗車時間] 特急：約80分
- JRいわき駅からJR水戸駅まで
常磐線特急ひたち/ときわが約60分毎に運行中
[乗車時間] 特急：約70分

【高速バスでのアクセス】

- JR東京駅(八重洲南口)から水戸駅(北口)まで
みと号(下り)赤塚ルート乗車
[乗車時間] 約120分

【バスでのアクセス】

- JR水戸駅から水戸キャンパスまで
JR水戸駅(北口)バスターミナル⑦番乗り場
茨城交通バス
「茨大行(栄町経由)」乗車 → 「茨大前」で下車
[乗車時間] 約25分



- 水戸駅北口7番のりば → 【特急】 → 栄町経由 → 茨大正門前 → 茨大前営業所(終点)
- 水戸駅北口5番のりば → 新原経由 → 茨大前営業所 → 茨大正門前(終点)
- 赤塚駅北口3番のりば → 新原 → 附属中前 → 茨大正門前 → 茨大前営業所(終点)

※バスは、これ以外にも多数運行されています。
時刻表や運行状況などは、こちらをご覧ください。

▶茨城交通
茨城大学 交通アクセス
<http://www.ibako.co.jp/regular/univ/ibaraki-univ.html>



茨城大学の校章

茨城大学が発足した昭和24年に作成され、野いばらの葉を図案化し、中に大学の文字を入れたものです。
茨城県の花も「バラ」で「茨」(いばら[のいばら])は、県の自然や歴史に関係の深い植物です。

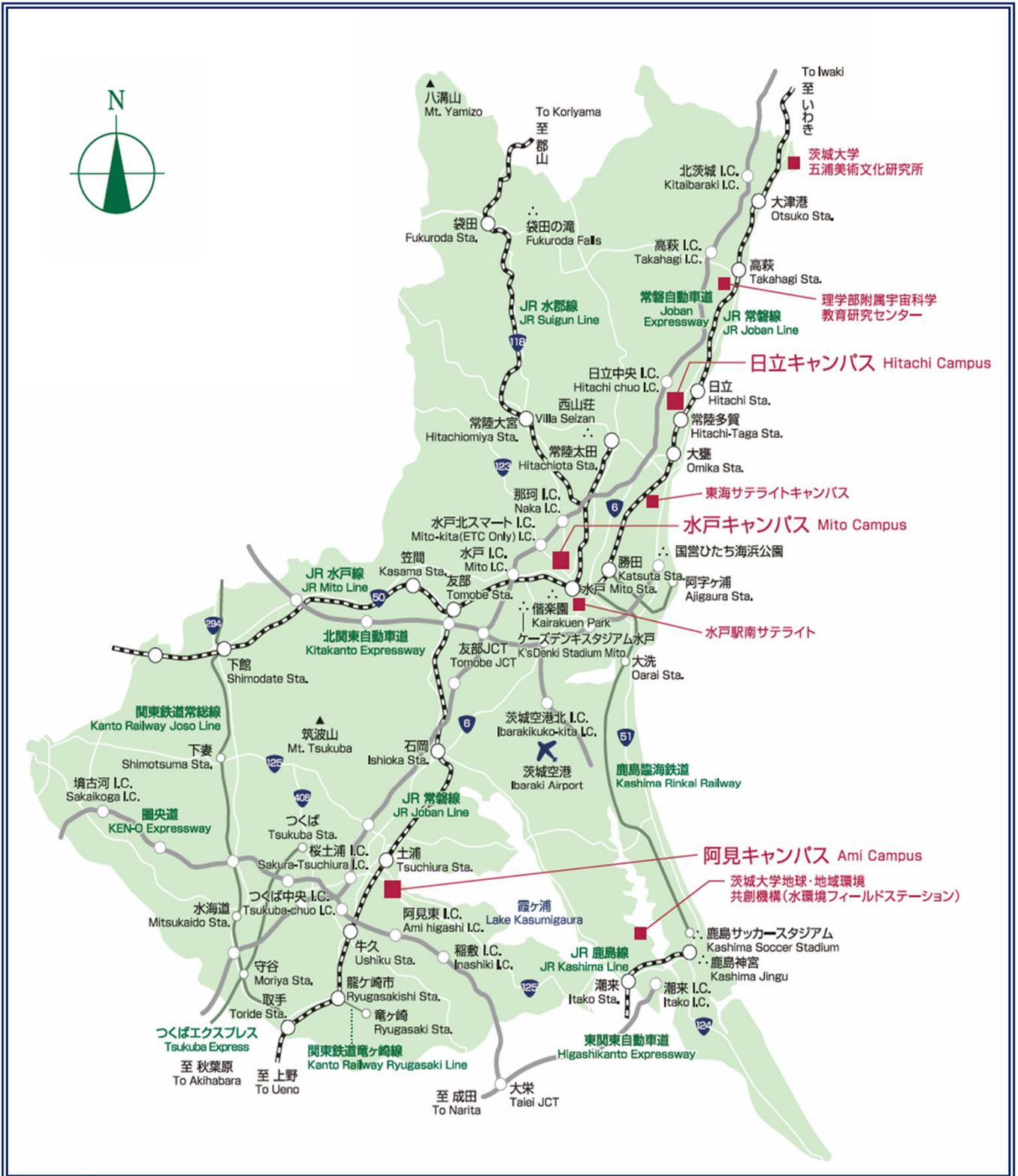


茨城大学のロゴ・マーク

茨城大学のイニシャル「I」の小文字をモチーフとし、できるかぎりシンプルな造形として「学問の灯」を表現しています。

制作者：佐藤晃一デザイン室

ロケーション



職員採用試験に関するお問い合わせ先

総務部人事労務課 職員採用担当
Tel 029-228-8014
Mail saiyou@m.ibaraki.ac.jp